

EUROBIKE2008 関連イベント「DEMODOY08」参加報告

EUROBIKE 開催前日の 9 月 3 日、屋外で行われる試乗会「DEMODOY08」が昨年に引き続き 2 回目の開催となった。昨年は天候不順であったが、今年は晴天に恵まれ絶好のサイクリング日和となった。開催地は、ドイツ南部のアルゴイ地方、アルプスを望む牧草地で保養地としても人気がある場所である。EUROBIKE2008 会場のメッセ・フリードリヒスハーフェンからは、車で約 35 分程度の距離にあり、牧草地を開放した駐車場に車が溢れていた。車以外のアクセス方法として展示会場からは、専用シャトルバスも準備されていた。

- ・主催： メッセ・フリードリヒスハーフェン
- ・会場： ドイツ・リンダウ近郊（前年 オーストリア・ブレゲンツ近郊）
- ・開催日： 2008 年 9 月 3 日（水）10：00～17：00
- ・来場者数： 計 1,770 名； プレス 370 名、自転車業者 1,400 名
（前年 計 1,300 名； プレス 300 名、自転車業者 1,000 名）
- ・出展者数： 103 社（前年 70 社）



入口看板



展示ブースゾーン

DEMODOY08 の会場では昨年以上に展示スペースが広がり、同様に出展社数も 103 社と増加した。それぞれのブースで、完成車、ヘルメットなどの貸し出しが行われ、食事や飲み物のブースも設けられくつろいだ雰囲気です試乗できる。テストコースの内容は、距離やレベルによって分けられており、オフロードバイク用を 3 コース（3.5 キロ、5.6 キロ、5.1 キロ）、ロードバイク用 2 コース（6.5 キロ、12.6 キロ）が設定されている。コースはどちらかというとオフロードよりロードレーサーの方が気持ちよく走り、適度なアップダウンがあり、ほとんどブラインドコーナーがなく、ごく希に通る自動車に注意すれば快適に試乗できる。



会場内風景



ルック（テストコース受付）

試乗車の車種はマウンテンバイク (MTB)、ロードレーサーが中心であるが、リカンベント車や電動自転車、タンデム車なども見受けられた。それらは最新型というだけではなく、比較的価格帯の高い自転車が用意されており、かなり贅沢な試乗会といえる。(ちなみに今回試乗した自転車は、ジャイアントの MTB の XTC とビアンキのロードレーサーの 928 カーボン)

DEMODOY08 の参加料は、ウェブサイト登録だと 8 ユーロ、当日入場料は 13 ユーロで、ユーロバイク展入場料とのセット販売もある。自転車の貸出し方法は、パスポート等の身分証明書をブースに預け、自分の好みの自転車を選び、スタッフにサドルなどの調整をしてもらった後にコースに出て試乗することとなる。ヘルメットなども同様な方法で貸し出される。参加者は、自転車販売業者など 1,400 名、メディア関係者 370 名の計 1,770 名で、サイクルジャージを着て本格的にテスト走行する参加者もいる一方で、電動タンデム自転車に乗ってのんびり試乗している老夫婦もいるなど多彩な参加者で終日にぎわいを見せていた。



ジャイアントブース



キャノンデールブース

DEMODOY08 は、本来の展示会とは別にブース設営の必要があるためブース設営や運営に係わる経費がかかり、展示会の前日に行われるためにスタッフの工面など出展社にはかなりの負担になると思われる。しかし、このような試乗会を行うことで新型の自転車の効果的なア

ペールができ、自転車の違いを理解してもらうことは有益である。既に実績のある米国インターバイクの「アウトドアデモ」は多数の参加者を集めており、日本の展示会の「サイクルモード」においても、一般消費者が対象であるが試乗が可能な展示会が好評を博している。今後はこのような自転車の試乗会が充実していくと思われる。

(総務部 後藤 浩之)



コースマップ



ロードバイクのコース



会場内風景



受付から会場まで



SUGOI ブース (DEMODAY のユニフォーム提供)



展示ブースと飲食ブース